

大旦町会だより

第132号

- 発行日 2025年6月23日
- 発行責任者 大槻 研司
- 編集・印刷 齋藤 馨

早朝からご苦勞様でした

前日は雨で実施が危ぶまれましたが、幸い全市一斉清掃日に当たる当日の六月一日は雨も上がり、大旦町会では約百名の町会員が参加して実施し、早朝から汗を流しました。

朝七時から各班の代表が集会所に設置した受付で麻袋やビニール袋を受け取った後、作業に取り掛かりました。

昨年十一月三日に実施してから七ヶ月が経過しましたが、場所によっては多くの堆積物があり、引き上げに苦勞さ

全市一斉清掃

れた班もありました。側溝の蓋の開閉が困難な個所はあちこちに存在し、町会で所有している開閉道具が大活躍でした。

早朝から参加された皆さん、ご協力に感謝申し上げます。

全市一斉清掃へのご協力ありがとうございました。

大旦町会長 大槻研司
六月一日(日) 朝七時から約一時間、道路側溝の土砂上げや草取



り、除草作業等を参加者約百名により実施していただきました。ありがとうございました。町内の側溝を清潔に保つことはもとより、これからの大雨時の災害対策として、側溝からの冠水防止のために、とても重要な作業だと思っています。十一月にまた実施が予定されていますので、よろしくお願ひいたします。

大旦少年会総会で交通安全指導

新入生を紹介 よろしくお願ひします



【勢揃いした新入生 よろしくお願ひします】

生の紹介があり、記念の図書カードが贈られました。

大旦子どもを見守る会の井上武之さん(六班)から次の通り、話がありました。①寝坊せず、行く時は集団で、帰りは二、三人で②信号が青でも左右の車が完全に止まるまで渡らない③トイレに行きたくなったら「トイレ貸してください」と言う④上級生の言うことを聞

四月五日大旦育成部が「大旦少年会総会」を開き、冒頭町会長から「学校までは遠いけど、頑張ってください。友達を沢山作ってください」と激励の挨拶がありました。最初に十一名の新入



【右が佐々木部長さん、左が菱田副部長さん】



【優しく話す井上武之さん】

く⑤帰り道は遊ぶすに帰る
今年度の育成部の役員は、部長は佐々木瞳さん(九班)、副部長は菱田恵さん(二十一班)です。楽しい取り組みを企画していきますので、どうぞよろしくお願ひします。

さくら会総会開く

明るく・楽しく・元氣よく

高齢者から幸齢者へ

四月二十一日大旦さくら会の総会を開き、大槻町会長から挨拶を受けた後、尾形賢司さん(六班)が議長に選出され、議事を進めました。九十歳になられた尾形千子さん(五班)に、鴻野会長からお祝いの花鉢が贈られました。これからもお元氣で!



【キチさんおめでとう】

第一回定例役員会開く

四月二十七日、今年度最初の定例役員会を開き、主な協議事項は次の通りです。

1. 東部地区自治振興協議会への要望事項確認
2. 班長・役員合同による集会所清掃日を五月二十五日と十月二十六日とする。
3. 全市一斉清掃を六月一日に実施予定
4. コミステーションのネット修理は、市からの補助を受け、破損確認次第修理を実施
5. コミステーション清掃確認記録簿は早急に回覧することし、記録用紙必要の場合は、役員に連絡し補充する

桜土手・小公園除草でスッキリ

五月三日、町会と桜土手の会が中心となり、桜土手と小公園の除草作業を行いました。今回は今まで余り手を入れたことがない桜土手北西部の法面を覆っている笹を中心に刈り取りました。

また、福島市が設置している小公園も草丈が高くなり、同時に除草しましたが、害虫の発生を防ぐため、年間四回程度の除草を行っています。

なお、花壇への花苗植栽は、東部支所から配給を受けました後、実施することとなります。



愛宕神社春季例大祭が執り行われる



四月十九日～二十日に愛宕神社春季例大祭が執り行われ、各組織の代表が玉串を奉奠しました。佐藤宮司さんより講話をいただき、大旦町会の



益々の繁栄を祈念しました。桜鼓会が賑やかに奉納太鼓を披露し、祭りの雰囲気大いに盛り上げました。

子どもを見守る会

懇談会で情報を共有

大旦子どもを見守る会では現在十一名の会員が活動しています。

毎年懇談会を開き、各受持ちエリアにおける問題点などを報告し合って情報の共有を図っています。

今回も多くの意見が出され、日常の活動に役立てていくと思えます。

岡山駐在所から田口主査にご出席いただき、最近の事件・事故の特徴や、見守る会活動に対するご指導をいただきました。



【この他に星國憲さんと鳴原久さんも活動していますが所用で欠席】

田口主査の講話の中で、見守る会の活動は子どもに係る事故の抑止力になっており、会員が道路に立っていることで、車もスピードを出しにくくなり、事故防止に大いに役立っているとの話がありました。

〈各会員の主な意見〉

- ①歩道一杯になって歩く。自転車が来ても気付かず、自転車が車道に出て危険だ。②遅れて一人である子が散見される。③減速しない車が多く、危険を感じる。④体調不良でトイレが必要になった場合は、近くの民家をお願いするので、我慢せず話して欲しい。

コラム

気持ちがほっこり

二月に「岡山地区の子どもを見守る会」の総会があり、大旦子どもを見守る会のメンバーと一緒に参加した。

各町会における課題等出し合い、その改善に向け小学校側と意見交換を行った。

総会の最後に二年生の十名が私たちの前に整列し、日頃の見守り活動に対する感謝の言葉を述べ、児童が書いてくれた「感謝の手紙」を一人ひとりに手渡してくれた。

その数日後いつもの見守り場所に立っていると、先日二年生の女子児童の一人から「先日は挨拶してくれてありがとうございました。とても丁寧なお礼の言葉だったので、暖かい気持ちになり、彼女の家庭における生活振りを想像しながら、一日中気分良く過ごすことができました。」

「おじさんたちは、とても喜んでいましたよ」と返事を返したら、爽やかにニコッと笑って横断歩道を渡って行った。

【齋藤 馨】

